

## 「聖教類研究会」活動報告

文責 佐竹隆信

本研究会は、川崎大師教学研究所が所蔵する聖教の整理、並びにその研究を目的とし、平成 27 年に発足した。

研究会のメンバーは以下の通り。

- ・川崎大師教学研究所前所長 福田亮成（研究会代表）
- ・川崎大師教学研究所研究員 駒井信勝
- ・川崎大師教学研究所研究員 別所弘淳
- ・川崎大師教学研究所研究員 鈴木晋雄
- ・川崎大師平間寺教学課課員 佐竹隆信

本年（令和 2 年）は、前年に引き続き、義剛（?～1715）撰『釈論打集類聚』をテキストとして、翻刻・書き下し作業の完成を目指した。しかし、「COVID-19」（新型コロナウイルス感染症）の流行に伴い、資料をつき合わせての研究会開催が困難となり、大幅な遅れを余儀なくされた（本年は未開催）。来年度は「ZOOM」等の導入を視野に入れて、研究会の再開をはかりたい。

## 『羯磨文談義』研究会」活動報告

文責 佐竹隆信

本研究会は、『羯磨文談義』の研究を目的として、平成 29 年に発足した。

研究会のメンバーは以下の通り。

- ・川崎大師教学研究所研究員・大正大学非常勤講師 別所弘淳  
(研究会代表)
- ・大正大学名誉教授 苦米地誠一
- ・龍谷大学特任准教授 大谷由香
- ・川崎大師平間寺教学課課員 佐竹隆信
- ・大正大学大学院博士後期課程満期退学 荒谷友美 (旧姓：池田)

現在『羯磨文談義』は、大正大学図書館所蔵本(旧平等心王院所蔵本)、西大寺所蔵本、川崎大師教学研究所所蔵本(旧新大仏寺所蔵本)の他、新たに現光寺所蔵本(真言宗智山派：京都・木津川市)を加えた 4 本の写本を用いて、翻刻・校訂作業を進めている。

本年(令和 2 年)における本研究会の活動は「COVID-19」の影響により、1 回のみで開催にとどまった。しかし、本研究会は、令和 3 年 1 月より「ZOOM」を用いたオンライン研究会の開催を予定している。これにより本研究会の定期的な開催が可能となり、作業効率が向上すると期待される。